

# シンガポール短期研修プログラム

2019年 9月1日～9月15日

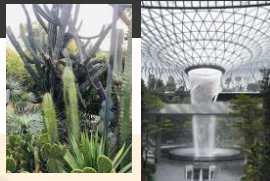


## EFシンガポール校での英語研修

英語初級者から上級者までレベル別のクラスがあり、事前テストで能力にあったクラスに振り分けられる。スピーキング、リスニング、ライティング、コミュニケーション等幅広く2週間学び、授業の他にも課外活動、休日や放課後にウェルカムディナーやスポーツ、博物館見学など様々なアクティビティが準備されている。留学期間中はシンガポール人家庭で生活する。

## シンガポール 都市の景観

- ・近代的なビルが建ち並ぶ景観の中に、市場や民家が多い地区が現れ、景色が急に一変する。(岩井)
- ・シンガポールの景観は、高度発展した近代都市の中に伝統的街並みが混在している。両者間に「自然」を取り込むことでうまく調和させているところが魅力。(上神田)
- ・ガーデンズ・バイ・ザ・ベイはお勧め。植物がどれも大きく、日本では見たこともない種類の植物にも出会うことができた。(虻川)
- ・シンガポールチャンギ国際空港の規模の大きさに驚いた。(石田)
- ・ごみが落ちておらず非常にきれい。(岩井、半田)
- ・東京よりも治安が良いと感じた。(岩井、上神田)
- ・MRTの案内表示がわかりやすく、バスやタクシーも含め運賃が安い。交通手段が充実。(福田、半田、上神田、七戸)



## 人々の生活

- ・シンガポールでは英語を話せないと不自由なため、半ば強制的に自国の言語と英語、最低2つの言語は話せるようになる。(七戸)
- ・様々な民族が、仲良く買い物やおしゃべりを楽しんでいる姿を頻繁に見た。この光景を見ると民族間の争いや差別がとても馬鹿馬鹿しく思える。(加藤)
- ・各地に手頃な価格のフードコートがあり、多国籍国家のためインド料理、中華など料理の種類も豊富。(岩井、小林)
- ・宗教の違いに対応し、料理に扱う肉の種類を選ぶことができる料理店が多い。(木村)
- ・車やお菓子で日本製のものがよく見られた。(福田)
- ・シンガポールでは隣国マレーシアから水を輸入している。レストランで、水は料理とは別に注文しなくてはならない。(加藤)

## EFシンガポール校

- ・グループワークやゲーム、話し合いの場をたくさんとり入れた授業は楽しかった。また、放課後や休日のアクティビティを通して友達がたくさんでき、留学中の生活はとても充実していた。(虻川、加藤、岩井、田口、石田、設楽、半田)
- ・発言を余儀なくされる授業形態。皆が積極的に発言する授業は本当に楽しく、学習意欲が増す。(石田、設楽)
- ・発音、アクセントの授業が難しかったが、その大切さに気付かされた。(福田、上神田)

## NUS(シンガポール国立大学)との交流

- ・県立大学学生とNUS学生との交流で、お互いにプレゼンテーションをした。学内をバスで移動するほど面積が広く、施設が充実していて一つの街のようだった。(岩井、田口)



## ホストファミリーとの生活

- ・留学中体調を崩し、薬をくれたりおかゆを作ってくれたり、手厚く看病してもらった。留学中迎えた誕生日を、ともに祝ってくれた。(岩井)
- ・ルームメイトはスペイン人。日本が大好きで、日本についての話題で盛り上がった。(福田)
- ・ホストファミリーは、私が理解するまでわかりやすく丁寧に話してくれ、私の話を理解しようとしてくれた(設楽、半田)
- ・ランタンフェスティバルに誘ってくれ、シンガポールの文化に触れることができた。(半田)
- ・ホストマザーが最終日にプレゼントしてくれたショールとバングルは、一生の宝物になった。(加藤)



## 研修を終えて

- ・聞き取る力とコミュニケーション能力が高まったが、話す能力は簡単にはつかないので、今後も意識的に英語で表現する機会を設けた。(虻川、田口)
- ・英語の読み書きができて、瞬発的に自分の考えを英語で伝える力や聞き取る力がないと、英語でコミュニケーションを取ることは難しいと実感した。(加藤)
- ・ジェスチャーを加えたり、相手が話したことをもう一度確認するうちに、英会話にとても慣れて英語力が上がった。(福田、小林)
- ・様々な人種や宗教の違いを受け入れ、共存する社会の仕組みを実際に見て、日本との違いに驚いた。多国籍国家の魅力にとっても興味を持った。(木村)
- ・日本とは全く違う多民族国家の文化で、多くの刺激を得ることができ、貴重な体験となった。(小林、梶)
- ・第2言語を習得するには日々の学習も必須だが、何より学ぶことを楽しみ、また学んだことをアウトプットしていく習慣が必要。(七戸)
- ・シンガポールと日本の都市景観に対する考え方の差異について学ぶことができた。この経験を今後の研究のテーマや方向性の参考にしたい。(上神田)
- ・語彙力の向上が課題。外国人との会話は、文法よりも語彙力が足りないことで不便を感じる場面が多かった。(設楽)
- ・正確な英語や文法で伝えることに気を遣うよりも、コミュニケーションをとりようとする意思が大切。(石田、半田、七戸)

## 研修参加者

- 小林千晃 (機工1年) 石田侑斗 (建築1年) 設楽歩崇 (建築1年)
- 木村 舞 (経営1年) 半田咲輝花 (経営1年) 中田景介 (経営1年)
- 梶 愛恵 (機工2年) 金田瑠偉 (機工2年) 上神田純哉 (建築3年)
- 七戸瑛美 (建築4年) 虻川菜緒 (応用1年) 加藤紘佳 (応用1年)
- 福田詩乃 (生産1年) 岩井隆太郎 (アグリ1年) 田口雄大 (環境3年)